

第三章 本末二教の教判

第一節 稱法の本教。第二節 深機の末教

第四編 華嚴の教理

第一章 緒言

第二章 事理無礙

第一節 四重の關係。第二節 三種の異說

第三章 三性六義

第一節 相宗の三性。第二節 性宗の三性。第三節 六義の說明。第四節 眞如の二義。第五節 他依の二義

第四章 事事無礙

第一節 無礙の理由。第二節 時間的觀察。第三節 空間的觀察。第四節 無礙の暗示

第五章 十玄緣起(事事無礙の相)

第一節 十玄所依の體事。第二節 十玄緣起の說明。第三節 十玄緣起の次第。第四節 新古十玄の比對

第六章 緣起と性起

第一節 緣性二起の略辨。第二節 性起染淨の二說。第三節 右二說の批評

第七章 六相圓融

第一節 六相本據。第二節 六相說明

第五編 華嚴の實踐

第一章 所破の機性

第二章 實踐の階級

第三章 修行の時節

修行の身體

斷惑の分齊

觀行の方法

以上

和製美本、二百二十餘頁、定價金貳圓五拾錢、東京市丙午出版  
會社發行(原貞乘識)

彙報

京大文學部哲學科本年度卒業學生

論文題目

(△選科生)

○哲學專攻

Goethe に於ける Spinozismus

カントに於ける道德律と自由の問題に就いて

意識と對象

カントの道德論に就いて

ヘーゲル論理學に於ける有無及び其他

ライプニッツの認識論及び形而上學一般(認識の本質を中心として)

シヨールペンハウエルの研究(主としてその倫理說)

美的對象性の問題

メノン研究(前提的思想の哲學的研究)

谷川徹三

日高第四郎

西村勝藏

川畑思無邪

吉田弘

立花勝

遠藤貞吉

赤松元通

△菊地慧一郎

ヒューム因果律批判

○印度哲學史專攻

釋尊を中心とする原始佛教會團の研究

親鸞の往生淨土の行證觀に就て

印度哲學に於ける自我思想發達史

大日經思想評論

○心理學專攻

回心(Conversion)の心理

祈禱の心理

同情論を通じて審美意識を論ず

○倫理學專攻

ギルド社會主義の倫理的研究

○教育學教授法專攻

青年心理の傳記的研究

○美學美術史專攻

藝術の本質並びに觀照について

希臘悲劇の起源

○宗教學專攻

實踐理性批判に於ける宗教哲學に關する諸問題

シユライエールマツヘルの宗教哲學思想に就て

カント宗教哲學に關する一考察(カント哲學と神の觀念)

カルビンの救濟論

△大和正六

杲 敬照

禿 了信

甲斐實行

△藤田弘純

笠 達惠

岡 道固

堀口市太郎

宮城敬夫

△曹世鈞

岡池公功

△林達夫

本多茂正

河村 巖

佐保田鶴治

△河合喜整

○社會學專攻

ゾントの民族心理學に於ける社會進化思想に就て

壇岡信夫

心理學讀書會例會

一〇年二月一日 午後三時半から實驗場で左のお話があつた。

'In Memory of W. Wundt' by his american students.'

野上教授

哲學會

來る三月月上旬在外研究生として渡獨せらるゝ田邊博士の送別會本年度哲學專攻卒業學生の豫餞會を兼ねて、二月十八日午後五時から學生集會場に開會した。主賓並に西田朝永波多野教授をはじめとして卒業生學生多數參會した。

印度宗教學會例會

二月廿一日(火曜日)午後六時より文學部第六教室にて左の講演を開いた。

一、僧團と戒律

一、他力教基礎

杲 敬照君

禿 了信君